

平成27年度 筑前町社会福祉協議会事業報告書

総括的概要

平成27年度は10年目の節目の年であります。これまでの事業活動を真摯に振り返り、時代の要請に応える地域福祉活動を展望しなければなりません。しかし、現状は町からの受託事業が大半を占めており、そして限られた職員という状況ですが、創意工夫し地域へ関わる機会の拡大に努力してまいりました。

一方国においては、社会福祉法人制度の見直し議論が進められています。

その中でも社会貢献活動の義務化は閣議決定されています。町内には、社会福祉協議会を含めて7社会福祉法人が存在しており、社会福祉法人が連携して社会貢献について協議を進めているところです。

このような情勢の中で、高齢者福祉事業や障がい者相談支援事業、日常生活自立支援事業等各種の事業と、青少年福祉事業の充実を図り、ボランティアセンターの活性化にも努めてまいりました。

事項別実績

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

名 称	期 日	内 容
第1回理事会	4月 6日	・会長、副会長の選任について ・評議員の選任について
第1回評議員会	4月 6日	・理事の選任について
監査	5月15日	・平成26年度決算監査
第2回理事会	5月22日	・平成26年度事業報告の承認について ・平成26年度資金収支決算の承認について ・評議員の選任について
第2回評議員会	5月22日	・評議員の選任報告について ・平成26年度事業報告の承認について ・平成26年度資金収支決算の承認について
第3回理事会	8月21日	・筑前町社会福祉協議会給与規程の一部改正について ・平成27年度共同募金運動実施計画について
監査	12月21日	・平成27年度前期監査

名 称	期 日	内 容
第4回理事会	3月23日	・平成27年度補正予算（1次補正）について ・平成28年度事業計画案について ・平成28年度予算案について
第3回評議員会	3月23日	・平成27年度補正予算（1次補正）について ・平成28年度事業計画案について ・平成28年度予算案について

(2) 心配ごと相談事業

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努めました。

毎月第1、第3金曜日の午後1時30分から午後4時まで、コスモスプラザ保健館の相談室で実施しています。

相談員 民生委員 4人 調停相談員 4人 人権相談員 7人
行政相談員 2人 母子相談員 1人

相談実績 43件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	5	9	4	2	4	3	4	3	0	1	3	5	43

相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解 決 内 容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計	1					1
年 金	1				1	
生 業・職 業	1				1	
住 宅	1				1	
家 族 (嫁姑問題)	6	2			2	2
結 婚	0					
離 婚	2				2	
健康・衛生	2	1		1		
医 療	3					3
精神衛生	3				1	2
財 産 (相続、財産分与)	7		1		4	2
事 故	1				1	
心身障害者 (児) 福祉	2				1	1
老人福祉						
苦 情 (近隣のトラブル)	3	1	1	1		
その他 (夫婦間のトラブル、お墓に関する事、兄妹からのいやがらせ、地域)	10		1		4	5
合 計	43	4	3	2	18	16

(3) 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報発信を行いました。

- ・「ちくぜん社協だより」を年4回発行（5月・7月・10月・1月）
- ・「声の社協だより」（録音テープ）を視覚障がい者、施設等に配布
- ・赤い羽根共同募金チラシ 10月に全家庭配布
- ・「共同募金だより」を3月に発行
- ・町の「広報ちくぜん」に毎月掲載と町の防災無線の活用

(4) その他職員研修等

① 障がい者福祉事業

朝倉地区障害者自立支援部会子ども支援部会、研修 (4月14日、6月19日、9月18日、11月20日、2月19日)	年間5回
九州地区障がい者相談支援事業合同研修会	11月5日～6日
精神障がい者地域支援会議・研修	7/22・11/25・1/27
障がい者相談支援ネットワークふくおかキックオフ研修	1月11日
就労セミナー	1月13日
発達障がい支援研修	1月22日
障害者総合支援法における障害支援区分認定調査員研修	6月26日

② 地域福祉事業

福岡県地域活動職員連絡会総会、研修	4月16日
	4月24日
	10月8日
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会、研修	12月1日
	1月29日
	2月19日
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会主催 災害ボランティアセンター設置訓練	6月28日
両筑地区社協全体会	12月12日

③ ボランティア福祉事業

ふくおかきずなフェスティバル	2月21日
----------------	-------

2. 社会福祉事業

(1) 受託事業

① ふれあいいいききサロン

地域の高齢者ひとりひとりが健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも楽しくいきいきと暮らしていくことを応援する活動です。

今年度は、台風の他に雪による中止が5地区にも及んでいますが、開催実績は増加しております。

ア、 実施状況

- ・実 施 区 34地区
- ・参加登録者数 1,078人
- ・延べ実施回数 355回
- ・延べ参加者数 6,973人

〈平成27年度区別実績と参加者数〉

単位：人

区 名	65歳以上	65歳未満	合 計	開催回数	延参加者数
大 塚	16	2	18	10	118
弥 永	32	1	33	8	116
依 井	48	2	50	12	291
依井二	38	5	43	13	349
高 田	50		50	9	207
新 町	43		43	7	120
原地蔵	18	2	20	11	164
久 光	30	3	33	12	211
栗 田	54	1	55	8	281
森 山	25	3	28	7	143
当 所	25	1	26	10	155
上高場	33	5	38	11	306
大久保	6	1	7	8	37
山 隈	31	3	34	12	283
高 上	18		18	12	134
朝 園	32	3	35	10	213
砥 上	24	1	25	12	203
松延本村	29	1	30	10	236
松延新道	24	2	26	9	124
中牟田町	29	1	30	12	248
中牟田村	43	3	46	11	281
下 原	16	1	17	11	136
朝 日 東	19		19	10	131
朝 日 西	41		41	11	282
二	28	2	30	12	264
篠 隈	39	4	43	11	305
篠隈新道	24	5	29	12	259
東小田上	18		18	12	177
東小田下	12	1	13	10	103
福 島	28	4	32	11	264
四 三 嶋	13	5	18	11	152
下 高 場	71	5	76	10	450

区名	65歳以上	65歳未満	合計	開催回数	延参加者数
安野	38	4	42	9	167
八並	12		12	11	63
合計	1,007	71	1,078	355	6,973

*開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

イ、小学生との交流会

夏休み期間中に PTA 等の協力により 9 地区が小学生との交流会を実施しました。小学生 107 人、PTA 等 19 人の参加がありました。

地域の子どもたちに、名前と一緒に親の名前を言うてもらうことでどこのこどもかがわかり、より親しみを持って交流をすることができていました。

ウ、出前講座等について

各サロンで出前講座や独自の取り組みがありました。

- ・悪質商法 7 地区
- ・認知症や健康について 11 地区
- ・熱中症・ロコモ予防 9 地区
- ・介護保険について 2 地区
- ・レクリエーション 6 地区
- ・その他 4 地区

その他

九電省エネ講座	グランドゴルフ	カラオケ	絵手紙
ボイストレーニング	泌尿器科の話 (高山泌尿器科)		
安の里音頭練習	詩吟練習	3 区合同交流	
園児との交流	めくばり館	花立山温泉	食進会による昼食
フォークダンス	人権コンサート	アレンジフラワー	

エ、野外活動について

春や秋には花見、研修として工場見学などの野外活動を行いました。

4 月・・・ 1 地区 5 月・・・ 5 地区 6 月・・・ 2 地区
7 月・・・ 1 地区 8 月・・・ 1 地区 9 月・・・ 1 地区
10 月・・・ 17 地区 11 月・・・ 2 地区

参加者の意見を取り入れ、新規の場所が多くなってきています。いつもと違う場所で新しい発見や、サロン内でのコミュニケーションが多くなってきています。

オ、ふれあいいいききサロン代表者会議

各区のサロンが円滑に継続できるように 3 回実施しました。

期日	参加者	内容
4 月 22 日	46 人	・ 27 年度事業計画説明 ・ 助成金交付
9 月 11 日	49 人	・ 前期活動報告 (4 月～9 月) ・ 合同交流会について
3 月 3 日	66 人	・ 27 年度事業報告及び 28 年度の取り組みと事業計画について ・ 健康レクササイズ (健康体操) 実技

カ、ふれあいいいききサロン指導員研修会

ふれあいいいききサロンでは 16 人の指導員が活動しています。

新人が多いため、毎月のサロン指導員定例会を1時間早く始め、手軽にできる隙間ゲーム・レクゲームの学習を、先輩指導員より指導を受けました。

キ、ふれあいいいききサロン合同交流会

他地区の会員との親睦と、地域の連携を深めることを目的に合同交流会を開催しました。

1班	12月	2日(水)	下高場公民館	9区	168人
2班	12月	7日(月)	めくばり館	8区	157人
3班	12月	10日(木)	下高場公民館	9区	162人
4班	12月	14日(月)	めくばり館	8区	188人

ク、ふれあいいいききサロンの拡大

午前と午後の内容を入れ替えたり、午前中のみで開催をすることで、年間開催回数が増えたくさんの人に地域の方同士で触れ合っていただくことができました。

② 在宅高齢者配食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者や障がい者に対して、(昼食、夕食)の弁当を届けると共に、利用者の安否確認を行いました。

社協職員が定期的に利用者宅を訪問して給食に対する意見や状況確認などを行っています。

毎月10日前後を集金日とし利用者宅を訪問しました。

調整会議などへ参加し、利用者の状況等を関係機関で情報交換し、それぞれの立場でのサービスの向上に努めています。(調整会議・・・月1回)

配食サービス実績 (配食日数 361日)

単位：食

月	月利用者	食数	月	月利用者	食数
4月	54人	1,597	10月	49人	1,448
5月	51人	1,574	11月	50人	1,444
6月	49人	1,525	12月	51人	1,479
7月	51人	1,585	1月	49人	1,278
8月	50人	1,513	2月	50人	1,325
9月	49人	1,441	3月	50人	1,391
		月平均	50人	合計	17,600

③ 敬老館運営管理事業

一般住民及び高齢者に、教養の習得・レクリエーション等のための場(大広間で演芸や講座など月1回のイベント)を提供することにより心身の健康増進を以って福祉の向上を目的としています。

ア、入館者数

	年間
会館日数	303日
入館者数	11,507人

- ・午後2時30分にラジオ体操を館内利用者に呼びかけ実施しました。
(平成27年度 筑前町ラジオ体操普及推進事業に参加)

イ、カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ (件)		訓練器具 (人)		
	町内	町外	ハッピー ライフ	太陽灯	ホクシン ヘルサー
年間	314	0	103	0	25

※太陽灯とホクシンヘルサーは故障の為9月から利用中止

④ 敬老館食堂事業

地元の野菜・米を使用し、日替わり弁当のメニュー表には、利用者の健康管理の参考にしていただくためカロリーや塩分量を記載し利用しやすいよう工夫しました。

月間売上実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	518,730	529,330	484,240	548,200	378,600	503,250
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	527,240	437,230	402,850	405,100	423,330	503,190
					合計	5,661,290

⑤ 放課後児童健全育成事業 (学童保育運営)

ア、入所児童数

単位：人

	みわっ子 SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り
1年	46	38	19	18	19	15
2年	24	18	32	26	19	18
3年	9	5	10	8	9	8
4年以上	1	1	4	1	7	6
合計	80	62	65	53	54	47

イ、夏休みのみ受け入れ

のびのびクラブ 2人

ウ、学童連絡会の開催

関係機関との連携、情報の共有、指導方針の共通理解を目的にスクールソーシャルワーカー (教育課)、家庭相談員 (こども未来センター)、こども課 (実施主体)、学童各主任の参加にて開催しました。

3学童合同	4月	3月		開催
みわっ子 SUN ² クラブ	7月	10月	1月	開催
のびのびクラブ	5月	8月	11月	開催
すくすくクラブ	6月	9月	12月	開催

エ、保護者会・役員会等の開催

各学童で行われている保護者会や、保護者役員会への参加

オ、指導員の育成

- ・各学童での指導員ミーティング 毎月
- ・主任ミーティング 年1回
- ・全体ミーティング 年1回
- ・感染症予防研修 2人参加
- ・学童保育新人基礎研修 2人参加
- ・こども支援部会研修「気になる子ども達への対応～事例検討を通して～」
11人参加
- ・福岡県放課後児童支援員等スキルアップ研修（リーダー） 3人参加
- ・福岡県放課後児童支援員等スキルアップ研修（初任者） 5人参加
- ・福岡県放課後児童支援員等スキルアップ研修（障がい児） 3人参加
- ・福岡県放課後児童支援員資格認定研修会 3人参加

⑥ 障害者相談支援事業

障がい者や介護者等からの各種相談に応じ必要な情報提供や助言を行いました。

ア、相談業務

(利用者数) 精神 229件・知的284件・身体402件・その他3件
男性 507人 女性 406人 不明 5人

延べ総数 918件

相談数が年々増えてきている。精神疾患の相談が急増しているのは、不安や自分を理解してくれる安心感に繋がっているからだと思われま

イ、障害支援区分認定調査

区分 46件・継続 50件
児童 45件・訓練 53件

総計 194件

サービスや事業所が認知され、申請者が増えてきている。

児童の場合は家族の就労や、専門的な支援を受ける為に必要になっている。

⑦ コミュニケーション支援（筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業）

障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に手話通訳者等の派遣を行いました。

利用登録者 12人 通訳登録者 10人 利用実績 39件

病院受診や、聴覚障害者が活発な社会参加（講演や講習、会合）に利用できている。

⑧ 在宅介護者のつどい

在宅で介護している介護者の情報交換の場となり、同じ悩みをもつ者同士が交流し日頃の疲れをリフレッシュする事を目的に開催しました。

そつたく基金を活用（町より受託）し外出事業を行いました。

1回目：那珂川町（清流）
5月14日（木） 参加者15人
5月18日（月） 参加者14人

2回目：花立山温泉
講演「介護の心得」 うら梅の郷センター長
8月28日（金） 参加者20人

3回目：福岡市（オープントップバス市内観光）
10月6日（水） 参加者15人
10月14日（木） 参加者19人

男性の参加も増えて、毎回楽しみにしていただいている人が多くなり、介護者の会として浸透してきました。また、お互いを理解できる同志と励まし合いリフレッシュする事で、介護に頑張れると言われてしています。

⑨ 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に、福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いをします。

平成27年度利用者	高齢者	2人
	知的障がい者	1人
	精神障がい者	3人
	計	6人

⑩ 福岡県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

平成27年度貸し付け相談件数	11件
貸付決定	教育支援資金 2件
	福祉資金貸付 2件
	計 4件

⑪ 筑前町ボランティアセンター運営事業

2年目を迎えたセンターは、地域住民向けのボランティア講座（入門）から、各福祉分野向けの体験講座、スキルアップ講座などを開催し、幅広い福祉分野のボランティア活動へ興味をもっていただくことを目的に取り組みました。今後も地域住民のボランティア活動の拠点として、更なる理解と関心を深め、ボランティア活動が地域における福祉の増進につながるよう事業を推進します。

主な事業は以下の通りです。

1. ボランティアに関する登録・相談・調整・受付
2. ボランティア活動に関する情報提供（収集・発信）
3. ボランティアの活動支援
4. ボランティアに関する各種講座・イベントの開催
5. レクリエーション用具・福祉器材の貸出対応

ア、ボランティア登録状況

	H26 年度末	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
団体	16 団体 (191 人)	0 団体 (7 人)	0 団体 (2 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (2 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (0 人)
個人	28 人	2 人	1 人	0 人	3 人	1 人	0 人
合計	219 人	9 人	3 人	0 人	5 人	1 人	0 人
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総合計
団体	1 団体 (17 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (0 人)	0 団体 (0 人)	17 団体 (219 人)
個人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	36 人
合計	17 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	255 人

イ、ボランティア依頼及び調整状況

依頼・調整数	37 件
マッチング数	35 件

ウ、ボランティア依頼分野別の件数と内容

分野	件数	主な内容
①障がい者・児分野	20 件	ガイドボランティア(盲人会・個人)、町内施設での行事、イベント手伝い、社協主催行事への同行サポート等
②高齢者分野	5 件	町内施設・事業所での行事、イベント手伝い等
③子ども分野	6 件	イベント・講座での運営サポート、読み聞かせ、託児等
④地域活動分野	6 件	行事、イベント手伝い等

エ、情報の発信状況】

- ・ボランティアセンターだより (年2回) 活動・講座報告、講座案内等
- ・社協だより (年1回) 行事案内
- ・広報ちくぜん (年4回) 講座案内
- ・センターホームページ 講座案内、センターだより内容等
- ・ど〜んとかがし祭へのブース出展 センター紹介、レク用具体験

オ、講座開催状況

開催日	内容	参加者
6月7日(日) 地域住民向け講座	ボランティア活動の啓発講座 「心が楽しくなる♪ボランティア活動の第一歩」 講師:Mottoひょうご 栗木 剛さん	53 人
6月27日(土) ガイドボランティア体験 講座	視覚障がい者への理解と、ガイドの基本、視覚障がい者の話、実技を体験する講座	8 人
10月10日(土) ガイドボランティア スキルアップ講座	体験講座参加者及びガイドボランティア登録者を対象とした講座(夜須高原記念の森公園散策・みなみの里での買い物)	6 人

10月14日～12月16日 手話体験講座（全10回講座）	町内在住の視覚障がい者を講師に、簡単な手話（あいさつ、自己紹介等）について学ぶ講座	8人
11月28日（土） 聞こえのサポーター体験講座	聞こえのしくみや、コミュニケーションする方法、筆談を学ぶ講座	15人
平成28年1月23日（土） 朗読ボランティア体験講座	アナウンサー経験者による朗読のポイント、声の出し方や抑揚等を学ぶ講座	20人

カ、福祉用具・レクリエーション用具貸出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
車イス等	3	4	4	2	7	3	7	6	4	0	1	3	44
福祉器具	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
レク用具	1	0	0	5	4	3	6	5	3	3	3	1	34

キ、その他

- ・両筑地区ボランティア担当者と連携及び情報共有
- ・三瀨町ボランティアセンター視察受入れ及び意見交換
- ・ボランティア連絡協議会との連携（ボランティアのつどい開催等）
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加
(両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会研修)

(2) 共同募金配分金事業

A、高齢者福祉事業

① ひとり暮らし高齢者のつどい

70歳以上の一人暮らしの方を対象に、閉じこもりの解消、生きがいつくり、交流を図ることを目的に開催しました。

- ・柳川市の「川下り」を楽しみました。

11月4日 39人 11月5日 22人

② 敬老の日祝い事業

敬老の日の祝いとして、白寿（99歳）と米寿（88歳）の方へ記念品として、商品券を贈りました。

白寿 15人（10,000円） 米寿 154人（5,000円）

B、障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

障がい者の社会参加の機会と、障がい者同士の交流を深める情報交換の場を

提供することを目的に開催しました。

- ・ 12月 8日（金） コスモスプラザ会議室1・2・3

・ 内 容

「日本のヘレンケラー」中村久子（読み聞かせ）

ドリカムキッズキャンパス 吉田喜久子さん

「音を感じよう！音楽で動こう！音楽で繋がろう！」

音楽療法士 近藤 美和子さん

参加者は、読み聞かせの内容に自分を悔やむのではなく、自分にできることを見つめて行くことを教えて頂き、自分達の励みになると感銘を受けていました。また、音楽療法では、普段触れ合うことのない人達と音楽を通じ楽しく過ごせました。

② 重度障がい者遠足会

日頃一人での外出が困難で介護が必要な障がい者を対象に、外出の機会づくりと障がい者間、世代間の交流を目的に開催しました。

- ・ 11月12日（木）

コンペイトウ王国（手作り体験） 参加者 28人

自分達だけでは行けない場所に行くことができるので毎回楽しみにしていただいています。今回はコンペイトウの手作り体験や、ボランティアとの交流もでき楽しく過ごしていました。

C、児童・青少年福祉事業

① 小学生福祉施設ふれあい体験学習

児童が地域にある福祉施設に訪問し、施設を理解し、そこで暮らす利用者と触れ合うことで、豊かな福祉の心が芽生えることを目的に実施しました。

月 日	施設名	参加児童数
8月 3日（月）	朝 倉 苑	3人
8月11日（火）	城 山 荘	2人
8月18日（火）	菊 池 園	7人
8月18日（火）	ほっとスペースあさくら	1人
8月19日（水）	朝 老 園	6人
8月19日（水）	菊 水 苑	5人
8月21日（金）	第二野の花学園	5人
参 加 合 計		29人

② 親子で防災体験にいこう！

竜巻や豪雨災害等いつどこで災害が起こるか分からないという現状を認識し、繰り返し災害について親子で学び、対応への理解や自助力を高めることを目的に福岡市民防災センターで実施しました。

参加者からは、体験型で災害の怖さや対応等を理解できた事業となりました。

10月24日(土) 参加者 親子 25人

(課題として、募集方法等の周知が徹底できず、検討が必要です。)

③ 社会福祉協力校への支援

ア、「三輪中学校防災訓練」での講義

6月6日(土) 全校生徒で実施された上記防災教育で、1年生(126人)に「災害の怖さ～要支援者の気持ちになって～」のテーマで講座を行いました。また、「命(いのち)のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11」を上映後、アイマスク体験を通じて、情報収集の難しさと歩行体験を行いました。

イ、三並小学校の生徒から視覚障がい者へのインタビュー依頼の対応

学校からの依頼を受け筑前町盲人会へ相談をし、会員のご協力をいただきました。当日は、様々な質問が活発に出され快く答えていただき、職員1人同行しました。

三並小学校 11月26日(木)

④ 南部5区コミュニティ協議会防災訓練への協力

11月28日(土)、町からの依頼を受け、体験型防災訓練の1つ車椅子操作を担当しました。当日は、朝倉苑、菊池園の職員に協力いただき参加者へ車椅子の基本的な操作方法と、注意点を中心に、体験型の訓練を行いました。

D、住民全般福祉事業

① ボランティア連絡協議会主催事業の支援

ア、ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会運営委員会を中心に各団体との交流や、お互いの活動を理解しあい、構成団体同士の信頼関係が深まりました。年間7回の運営委員会を開催し、各団体の活動や問題点などを共有し、ボランティア連絡協議会主催事業として、講座、つどい等の企画立案から実施までの支援を行いました。また他機関からのボランティア要請などの情報を提供しました。

イ、「認知症サポーター講座、介護保険変更点の説明、常設サロンひなたぼっこ見学」

認知症キャラバンメイトによる認知症について理解と、対応方法を学びました。その後、福祉課から今年度に変更になった介護保険制度の説明を受けて、高齢者施設の種類の説明やコスモスプラザにある常設サロンひなたぼっこ見学しました。

8月29日(土) 参加者 38人

ウ、「年金講座」

日本年金機構 南福岡年金事務所から講師を招き、年金のしくみや各種年金の違い、受給方法などを学びました。

10月17日（土）参加者 25人

エ、第10回ど〜んとかがし祭へのブース出展参加

ボラ連と各団体の活動紹介をポスター掲示し、地域住民へのボランティア活動の啓発活動を行いました。

11月1日（日）

オ、岡垣町ボランティア連絡協議会への視察研修

ボラ連運営委員が、岡垣町ボランティア連絡協議会へ視察研修に行き、ボラ連の運営や取組み、各団体の活動について学びました。またお互いが直面している課題を共有し、意見交換を行いました。

11月27日（金）参加者 11人

カ、ボランティアのつどい開催

平成27年度に受賞した厚生労働大臣表彰と福岡県知事感謝状の表彰伝達を行いました。その後に、「わかりますか？認知症のこと 精神障がいのこと 発達障がいのこと」をテーマに地域で活躍の2人の講師を迎え、講演会と分科会を開催しました。

2月 7日（日）参加者 110人

E、福祉団体への配分及び支援

① 福祉団体への配分

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、ボランティア連絡協議会、小中学校への配分を行いました。

② 金婚祝い品配布事業

今年結婚50年を迎えられた22組のご夫婦に記念品とお祝い状を、お届けいたしました。

③ 白百合会のつどい

夫と死別又は離別された当時、15歳以下の子どもを扶養され25年以上経過された寡婦の方々が会員となり、苦労話をまじえながら交流を行いました。

3月22日（火） めくばーる健康福祉館

出前講座・交流会 参加者21人

F、共同作業所への配分

共同作業所くるみ苑、ひだまり、みるくはうすに配分を行いました。

3. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金運動

毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。

配分金は翌年度の事業費として、地域福祉活動の貴重な財源となっております。

募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	5,389,200	5,023,764	51区
企業募金	1,555,000	1,589,379	347件
個人募金	715,000	699,694	300件
学校募金	20,000	20,526	町内小中学校
団体募金	390,000	287,561	老人クラブ その他
資材募金	266,380	257,423	バッジ・カード等
その他募金	59,000	55,716	街頭募金・窓口募金 どーんとかがし祭り 自動販売機
募金総額	8,394,580	7,934,063	